

令和3年度 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	第2学年	学類	普通科理系
単位数	2 単位	教科書	改訂版 生物 (数研出版)				
副教材	生物実験ノート・問題集 (愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門) 九訂版スクエア最新図説生物neo (第一学習社), リードα生物 (数研出版)						

学習目標	生物基礎の内容を踏まえて、生物についての理解を深めていきます。最初に物質と代謝や遺伝現象との関わりについて学びます。 生物や生物現象についての観察、実験を行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物に対する科学的な見方や考え方を高いレベルで養うことを目標とします。
------	--

キャリア教育の視点	学習内容と産業や技術とのつながりが強いこともあるので、教科書や図説の内容だけではなく、書籍やインターネット等を活用して、データを収集したり、科学の原理、産業への応用などについて調べたりするなど、理系の進路に対応します。
-----------	---

		学習計画及び内容		考査
1 学 期	4月 5月 6月 7月			
2 学 期	8月 9月 10月 11月 12月	<11月まで必修科目として生物基礎> 第1章 細胞と分子 1 生体を構成する物質 2 タンパク質の構造と性質 3 酵素のはたらき	生物の体は細胞でできていること、細胞活動においては、様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを学習します。	
3 学 期	1月 2月 3月	4 細胞の構造 5 物質輸送とタンパク質 6 情報伝達・認識とタンパク質 第2章 代謝 1 代謝とエネルギー 2 呼吸と発酵 3 光合成 4 窒素同化 第3章 遺伝現象と物質 1 DNAの構造と複製 2 遺伝現象の発現	「生物基礎」で概要を学習した呼吸・光合成について、その詳細な仕組みを学習します。 「生物基礎」で学習したDNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細な仕組みを学習します。さらに、遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性についても学習します。	学年末考査

学習の方法	授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり図表を活用したりすることによって、自分で見て確認してください。 生物は覚える学習ではないので、問題演習によって知識の定着を図ってください。
-------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、実験レポート・課題・小テスト・ノート及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。
-------	---

備考	
----	--